

# 上井草駅周辺まちづくり計画 (中間のまとめ)

平成31年1月  
杉並区

# 1 はじめに

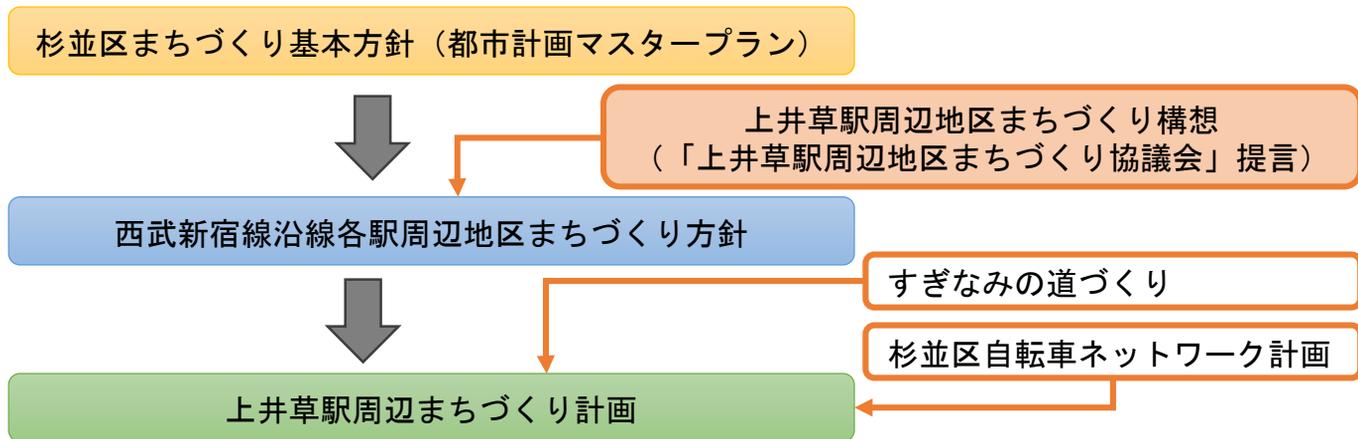
上井草駅周辺は、「バスやタクシーなど、鉄道から他の交通機関へ乗換えが不便」「駅へのアクセス道路は歩行者等の安全性が低い」「駅南北の連絡通路がない」などの状況にあります。区では、上井草駅周辺の利便性・安全性の向上に向け、駅周辺の道路・交通の課題を整理し、整備の方向性を検討しました。

# 2 まちづくり計画の位置付け

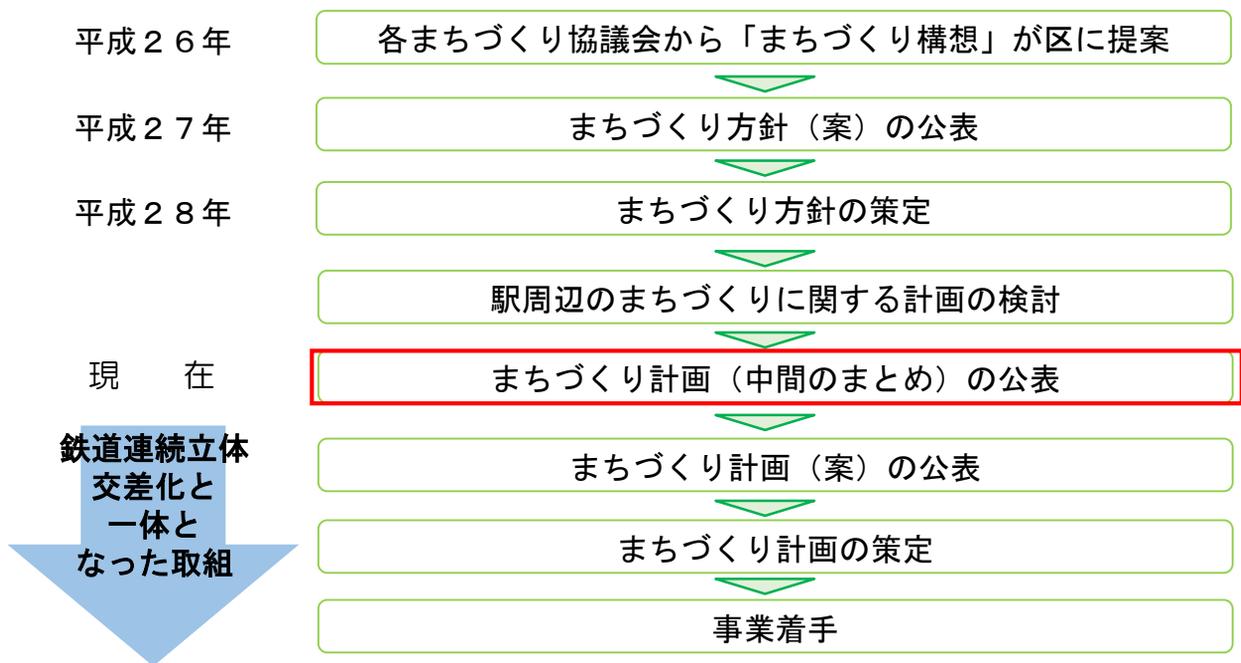
「上井草駅周辺まちづくり計画（中間のまとめ）」は、今後策定予定の「上井草駅周辺まちづくり計画」のうち、上井草駅周辺の道路・交通施設の整備について、オープンハウス等で地域の皆さまからいただいたご意見を踏まえ、区の考え方を示したものです。

また、「西武新宿線沿線各駅周辺地区まちづくり方針」に基づく、西武新宿線の連続立体交差化と一体となった駅周辺のまちづくり整備の骨子となるものです。

## 〈本計画の位置づけ〉

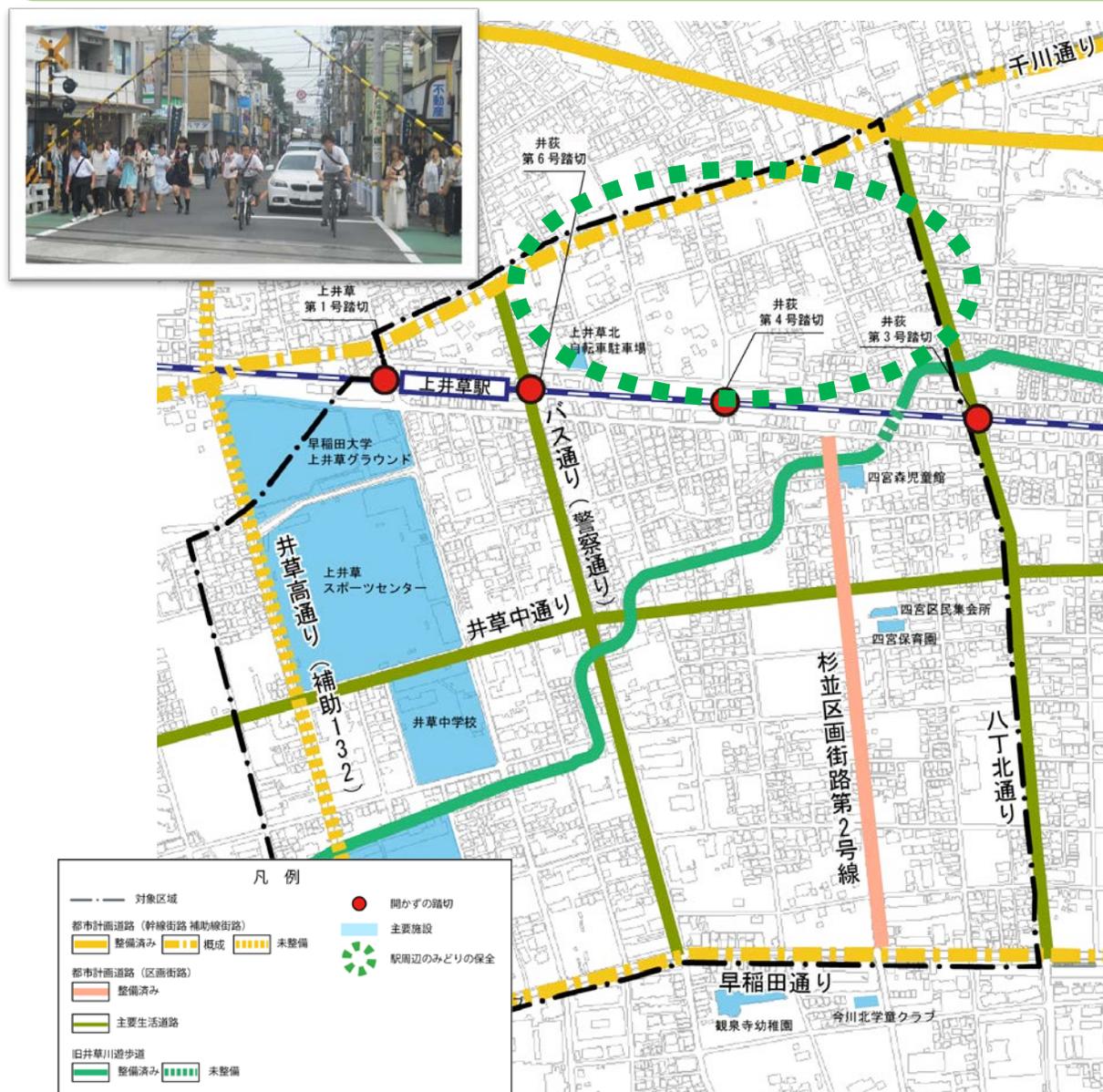


# 3 まちづくりの流れ



## 4-1 上井草駅周辺の街区特性と交通現況

- 上井草駅周辺は、みどり豊かでゆとりある住環境に加え、駅近傍に総合スポーツ施設や早稲田大学の上井草グラウンド、4つの高校が立地し、学生が多いまちです。
- 都市計画道路、主要生活道路等の道路網がバランスよく配置されており、それぞれの役割分担が明確化されています。
- 井荻町土地区画整理事業により周辺道路が碁盤の目状に整備され、歩行者の安全性確保の観点から、一方通行等の交通規制を導入し、交通ネットワークを形成しています。
- 駅北側の地区は、杉並らしいみどりの保全地区に指定されている箇所もあり、生産緑地も多く、みどりあふれる街区を形成しています。
- 上下線のホーム間を移動できる連絡通路がないため、駅周辺の踏切を渡る必要があります（通勤等の駅利用者は行き、又は帰りで必ず踏切を渡ることとなります）。
- 地区内にある4箇所の踏切は、いずれもピーク時に1時間あたり40分以上遮断する「開かずの踏切」となっています。
- 特に朝晩のラッシュ時は、駅直近のバス通り（警察通り）と踏切に車両と歩行者・自転車が集中し踏切の遮断時間も増え、交通利用環境が著しく低下しています。



## 4-2 バス・タクシーの現況

- 荻窪駅方面のバス停留所が駅から約100m離れており、鉄道とバスの乗換えに関する利便性が低くなっています。
- バス停留所が狭い歩道上に設置されているため歩道上に人があふれ、通行等に支障があります。
- 南口改札前の道路にタクシーが停車していることがあります、乗降施設はありません。

○井草中通り以北のバス通り（警察通り）及び井草中通りは、平成29年3月策定の「すぎなみの道づくり（道路整備方針）」において、主要生活道路※の安全対策路線に位置づけられています。

※主要生活道路：8～13mの計画幅員を有する地域における身近な交通を担う道路で、上井草駅周辺地区ではバス通り（警察通り）と井草中通りが該当しています。



分散設置されているバス停留所

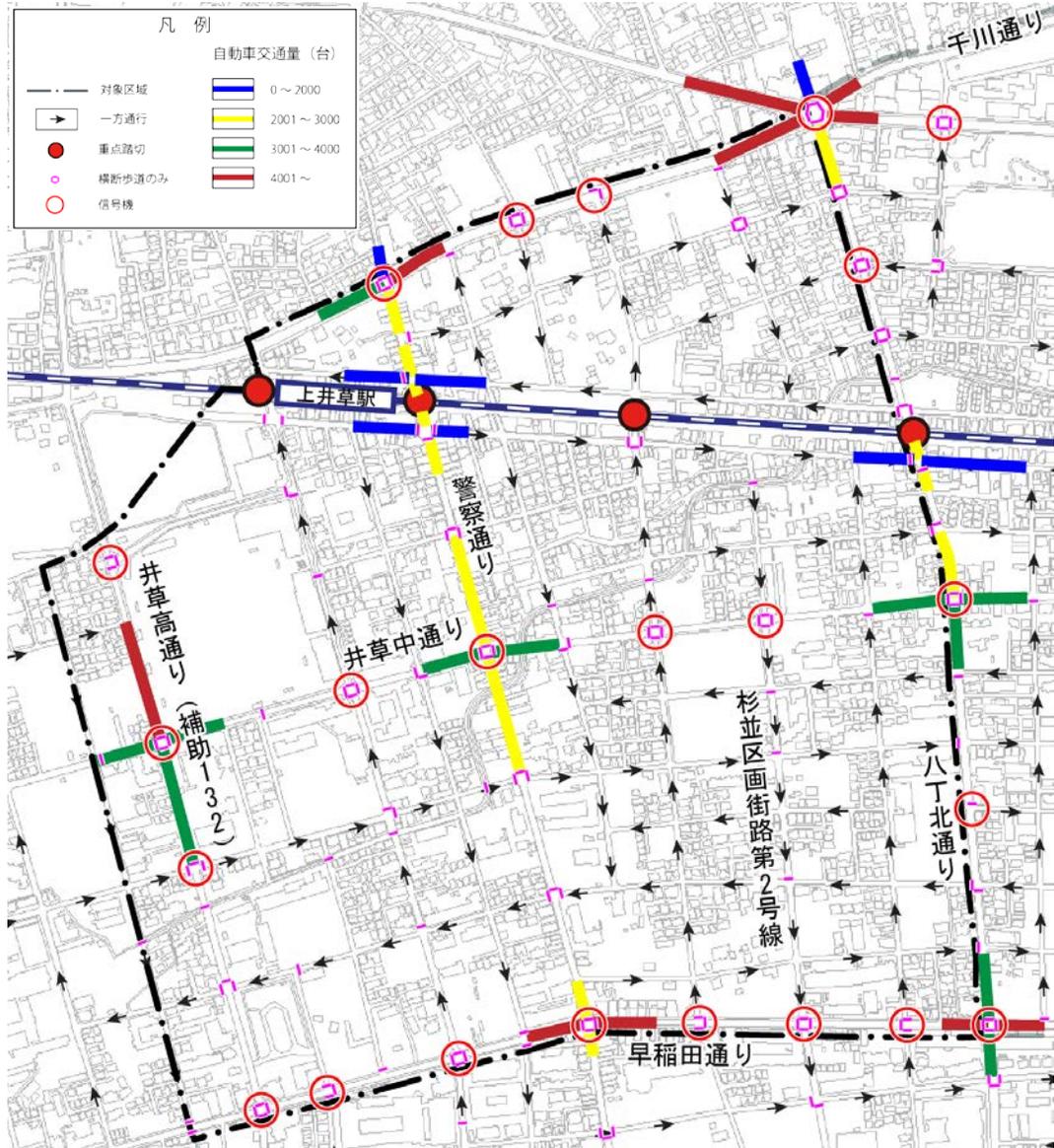


駅改札前に停車しているタクシー



## 4-3 一般車両の現況

- 地区内を南北に縦断する主要生活道路が通り抜け道路となっています。
- 鉄道沿いに東西方向に道路が整備されており、歩行者安全性の確保のため、一方通行等の交通規制が行われています。
- 開かずの踏切が、自動車等の通行に重大な支障となっています。
- 駅周辺に一般車両乗降施設が整備されていないため、駐停車車両が道を塞いでいます。



一方通行規制



踏切渋滞



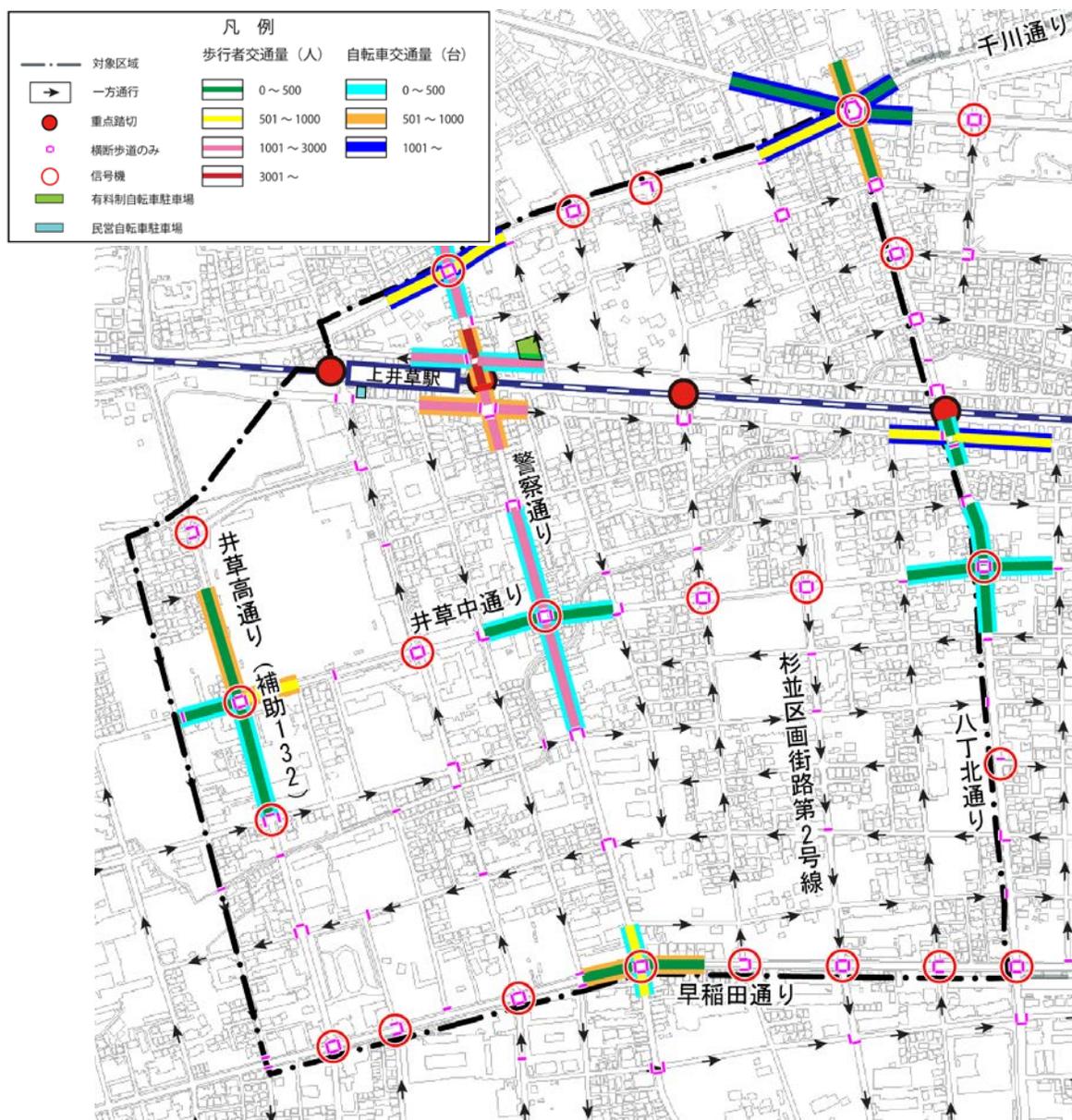
## 4-4 自転車・歩行者の現況

### 【自転車】

- 自転車の通行量は、千川通りや西武新宿線沿いの区道に多く、駅周辺では、東西方向の自転車交通量が多くなっています。
- 上井草駅周辺には区営と民営の自転車駐車が整備され、自転車の放置は現状ほとんど見られませんが、自転車駐車が分散設置されています。

### 【歩行者】

- 歩行者の通行量は、駅に向かう地域の主動線であるバス通り(警察通り)に集中しています。
- バス通り(警察通り)は歩道の幅員が狭いだけでなく、踏切により歩行者のスムーズな通行が妨げられています。
- 駅周辺や商店街では、バス通り(警察通り)に限らず東西方向にのびる道路でも自動車と歩行者・自転車の動線が重なり、危険な箇所があります。
- 駅周辺歩行者の待合せや休憩スペースが少ない状況となっています。



### <交通利便性の向上>

- バス停が駅から離れているなど、円滑に乗換えができないため、駅直近にバス・タクシー等の乗降施設を整備する必要があります。
- 駐停車車両により道路が塞がれ、通行に支障が出ているため、車両等の乗降場を駅周辺に設置する必要があります。

### <歩行者・自転車の安全性の確保>

- バス通り（警察通り）や駅周辺の道路は、車道・歩道が分離されていないなど、歩行空間が確保されていないため、歩行者等の安全性の向上を図る必要があります。
- 駅周辺には待合せや休憩スペースがないため、まちの玄関口としてゆとりを確保する必要があります。

道を塞ぐ駐停車車両



分散設置されているバス停



滞留スペースのない駅前



道幅の狭いバス通り



道路・交通面の課題解決に向け、次のとおり整備の目標を定め、駅周辺のまちづくりを進めます。

### 【整備の目標】

#### ◎交通結節点※機能の強化

駅前の交通環境を改善し、鉄道・バス・タクシー相互の乗換え  
利便性を向上

#### ◎安全で快適な歩行者・自転車空間の確保

歩行者・自転車が安心して通行できる道路環境の形成

※交通結節点：交通機関の乗換え、乗降施設で具体的には、鉄道駅、駅前広場等が挙げられます。



### 【目標の実現に向けて】

◎交通結節点機能の強化と安全で快適な歩行者・自転車空間の確保を図るため、駅前広場の整備とバス通り（警察通り）等の整備を検討します。

◎事業効果を高めるため、鉄道連続立体交差化にあわせた整備を検討します。

（事例写真）駅前広場のイメージ



（事例写真）区道の拡幅整備のイメージ



駅前広場は、駅とバス通り（警察通り）に接した配置となる整備案を検討します。



### <交通広場としての整備の視点>

- バス、タクシー等の乗降場を集約し、駅からの移動距離を短くすることで乗換え利便性を向上します。
- 歩行者の安全性を高めるため、駅と駅前広場が互いに接する配置とします。
- 鉄道、バスの乗降客数、運行状況等を考慮した適正な規模を確保します。

### <都市の広場としての整備の視点>

- みどりあふれるゆとりのある空間を確保します。
- 地域のシンボルとなるよう、美観や象徴性に配慮します。
- 災害時にも活用できる空間を確保します。

#### 交通広場

鉄道・バス・タクシー等の  
便利な乗換え機能



#### 都市の広場

人々が憩い・集う交流機能  
一時的に避難できる防災機能



歩行者・自転車等の安全性を高め、安心して通行できる道路の整備案を検討します。



### <バス通り（警察通り）等の整備の視点>

- バス通り（警察通り）の歩行者の安全性向上を図るため、両側に歩道を設置し、必要な道路幅員を確保します。
- 駅と駅前広場、バス通りをつなぐスムーズな歩行者動線を確保します。
- 道路拡幅による延焼遮断機能の向上を図ります。
- 歩行者・自転車通行の安全性向上を図るため、駅周辺の東西方向に歩行者・自転車のためのネットワークを確保します。
- 利便性と連続性のあるみどりあふれる歩行者空間を確保します。

○バス通り（警察通り）については、「すぎなみの道づくり（道路整備方針）」において、主要生活道路の安全対策路線に位置づけられていますが、特に千川通り方面からの歩行者通行量が多いため、駅前広場の整備にあわせて千川通りから駅前広場区間において新たに道路の拡幅整備を検討します。

現在のバス通り



拡幅整備後のイメージ



## 【目標の実現に向けた整備の考え方】

- ① 駅直近に駅前広場を配置し、バス停留所などの交通施設を集約
- ② 駅前広場と一体となった歩行者空間の確保
- ③ 千川通りから駅前広場に至る区間のバス通り（警察通り）の  
拡幅・整備
- ④ 駅周辺の東西方向の歩行者・自転車ネットワークを整備

上井草駅周辺まちづくり計画（検討図）



## 7 安全で利便性の高いまちづくりに向けて

区では、利便性の高い快適な駅周辺の交通環境の整備に向けて、「まちづくりニュース」などで区の検討状況や考え方をお知らせするとともに、引き続き地域の皆さまや関係機関と連携・協力し、駅周辺のまちづくりの具体化に向けた取組みを進めていきます。

また、駅前広場やバス通り（警察通り）等の整備にあたっては、商店街を含めた駅周辺のにぎわいの維持・向上を図るため、駅前の特性を踏まえた土地の高度利用の検討や、みどりの保全・育成などを通して、周辺住宅地と調和した魅力あるまちなみ形成を図ります。

# <参考> オープンハウスでいただいた区民意見

## 【アンケート結果の概要】

駅前広場とバス通りの整備について、ご意見やご要望、また、どのような工夫や施設が必要と感じるか、アンケート形式でご回答いただきました。

駅前広場の整備については、「安全で快適な歩行者空間の確保」が最も多く、81%の方が必要と回答し、次いで、「交通機関の乗換えのしやすさ（65%）」、「バスから安全に乗降できる空間の確保（63%）」の順となりました。

バス通りの整備については、「歩行者・自転車利用者が快適に通行できる道路の整備」が最も多く、80%の方が必要と回答し、次いで、「バスが円滑に通行できる道路の整備（75%）」、「道路の両側への歩道の整備（69%）」の順となりました。

## 【いただいたご意見の概要】

まちづくり全般	<ul style="list-style-type: none"><li>・定期的な情報発信の場や、ホームページ等での情報提供がほしい</li><li>・他区市や東京都との連携を密にした方がよい</li><li>・今ある住環境を大切にしてほしい</li></ul>
道路整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・バス通りに十分な歩行者空間を確保してほしい</li><li>・バス通りは歩道が狭く、ベビーカーは車道を通っているため、安心して通行できる十分な幅員がほしい</li><li>・拡幅することで、バス通りにある商店がなくなるのは課題である</li></ul>
駅前広場	<ul style="list-style-type: none"><li>・駅前広場は賛成、最後までやり遂げてほしい</li><li>・広場は歩行者空間、バス・タクシー待機スペース、一時駐車スペースを広めに確保してほしい</li><li>・駅前に休憩スペースがほしい</li></ul>
連続立体交差事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・踏切をなくしてほしい</li><li>・上井草駅のホーム連絡通路を早期に実現してほしい</li></ul>
商業・にぎわい	<ul style="list-style-type: none"><li>・駅周辺にスーパー等がなく、日常の買い物に不便</li><li>・駅南側は店舗の入った建物が多く、個性があり残してほしい</li></ul>
みどりの保全・育成	<ul style="list-style-type: none"><li>・自然の豊かさを失わない環境づくりをしてほしい</li><li>・みどりの保全が必要（特に屋敷林）</li></ul>

## <当日の様子>



### 【本冊子に関するお問い合わせ先】

杉並区 都市整備部 市街地整備課 鉄道立体担当  
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
電話 03-3312-2111（内線3379）

